

6章. 重点プロジェクトの検討

1. 中心市街地のまちなか賑わい強化プロジェクト

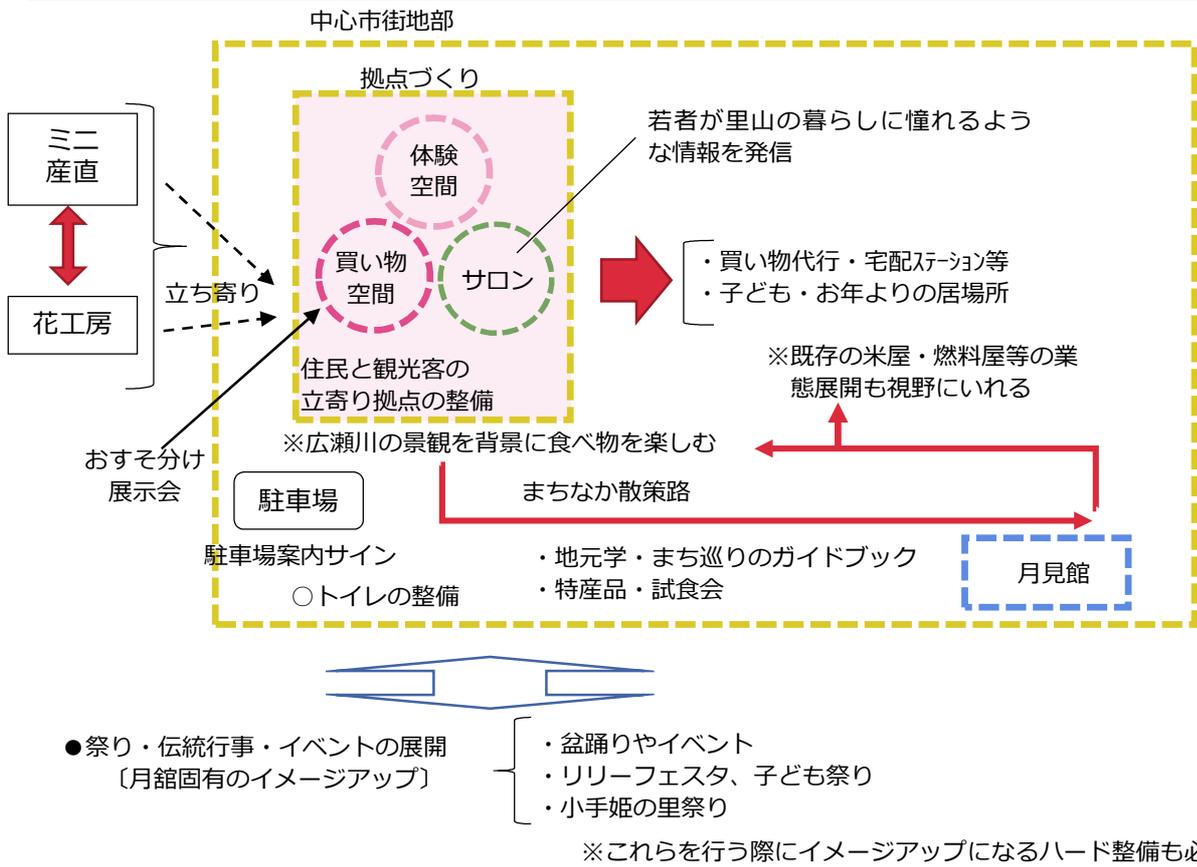
月館地域全体の活性化に向けて、主に月館地区（月館、布川、御代田）を対象とした整備目標と基本的な考え方を以下に示す。

(1) 整備目標

■整備目標
 ～子どもの集いをキッカケとした高齢者も出かけたくなる
 「まちなか」の暮らしとふれあいの健幸拠点～

■基本的な考え方

- ・月館地域の生活の中心拠点として機能を拡充する。（小さな拠点機能）
- ・子ども達が集い、まちなかで遊ぶことができ、地域住民や観光客、立ち寄り客等との交流を含め、子育てと情操教育に資する取り組みを行う。（ソフト施策）
- ・自動車交通が少なくなることを契機として、歩きやすいまちなかとして再構築する。
- ・中心市街地を舞台とした祭りやイベントの開催により地域内外から人を呼び込む。
- ・花工房やミニ産直施設から、まちなかへ立ち寄った際に自動車を駐車しやすいように、主要な駐車場を案内できるサイン整備を行う。（近隣施設の駐車場の共同利用も視野に入れながら、主要施設から近い順に、第一駐車場、第二駐車場等）
- ・広瀬川沿いの散策を楽しむきっかけづくりを通じて、人々の交流が生まれる仕掛けをつくる。



(2) 整備プログラム

ハード・ソフトに関わる整備プログラムを以下に示す。

整備事業 1 : 空き家の利活用	
<p>■目的</p>	<p>まちなかにおいて、小中学校の統廃合により、中心部に集まる子どもたちを核とした地域のにぎわい再生と来訪者が訪れてみたくなる楽しみを創出することを目的とする。</p>
<p>■ハード展開</p>	<p>若者や地元活動団体による空き店舗等の活用を推進する。</p> <p><施設整備イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備箇所：2箇所（スタートアップ時は最小限の設備投資を想定） <p><空き店舗></p>  <p>買い物・飲食の場（駄菓子屋、予約制農家レストラン等）として利用</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>買い物の場イメージ 出典：浜まちWEB HP <商工会></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>飲食の場イメージ</p> </div> </div> <p>交流・情報発信の場（まちなかサロン）や学習の場として利用</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>まちなかサロンイメージ</p> </div> </div>

<p>■ ソフト展開</p>	<p>買い物・飲食の場は、周辺が子供の遊び場となるように、子供向けのお店とし、店舗内だけでなく広瀬川沿いの散策路やひろせふれあい広場などの屋外でも遊んでもらえる仕掛けを展開する。また、子ども向けのおやつとしての飲食機能も備え予約制で農家レストランとしての利用も可能なものとする。</p> <p>まちなかサロンとして、地元のお年寄りから子供まで集まり、世代間の交流できる仕掛けを展開する。例えば、放課後に子供が立ち寄る、または総合学習の時間に立ち寄って体験・学習機能を発揮できるように利用促進を図ることが考えられる。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <p>○空き店舗での展開イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の遊び場・買い物（駄菓子屋等）、飲食 ・農家レストラン（予約制） <p>⇒ 将来の拡張として物産、子供の遊び場⇒クラフトスペース、体験学習</p> <p>○商工会での展開イメージ（まちなかサロン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流・情報発信（地域案内、散策マップ作成） ・体験・学習機能（仮称 子ども寺子屋） ・住民の交流、居場所。まちなかの住民と観光客がふれ合える場 <div data-bbox="539 1193 1054 1536" data-label="Image"> </div> <p>まちなかサロンでの活動イメージ</p> <p>出典：地域みらい計画（高知県佐川町みんなの総合計画づくり）HP</p>
<p>■ 効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路沿いの賑わい再生に繋がることが期待される。 ・子どもや高齢者がまちなかに出かけるキッカケづくりに役立つ。 ・月舘運動場を利用する子供達も立ち寄るきっかけづくりに繋がる。

整備事業 2 : 空き家等を有効活用する組織づくり

■目的
空き家を活用した取り組みを住民ニーズの変化に応じて、持続的な取り組みとして地域に根付かせることを目的とする。

■ソフト展開
空き家等の利活用をさらに推進するとともに、まちのイベントの新たな取り組みも含めて、タウンマネジメントを行う組織づくりの検討を行う。
＜ソフト展開イメージ＞
○スタートアップの展開
・協議会の発足
・イベント企画・運営
・既存空き店舗利用施設のサービスメニューの拡充（例：買い物代行・宅配ステーション機能を地元商店街と連携して併設等）

○新しい企画の検討
・殿上集会所の利活用検討 ⇒（集会所、NPO 団体の活動、里山ガッコウ、アトリエ、町の美術館・博物館、グループホーム等）
・字町倉庫の利活用検討 ⇒食品加工拠点の形成（うどん、その他地域特産品）
・館織物工場跡の利活用検討 ⇒（日曜市、きのこの栽培、インドア型の遊び）
・空き地の活用検討 ⇒住民と観光客の立ち寄り拠点（農家レストラン、ミニ産直所等）



アトリエイメージ
出典：木工と暮らしの店『6』rock HP

■効果
・まちを継続的にマネジメントして持続可能なまちなかの再生に役立つ。

整備事業3：まちなか回遊散策路の整備【重点事業】

<p>■目的</p>	<p>地域住民が回遊する魅力を高めるとともに、来訪者も楽しく散策できるような環境を整えることを目的とする。</p>
<p>■ハード展開</p>	<p>まちなかや広瀬川沿いを楽しく散策できるように、河川景観に配慮した清掃活動や、河川沿いの庭を活用して市民協働で歩いて楽しい空間形成を行う。</p> <p><施設整備イメージ></p> <p>○サイン整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の誘導サイン ・地域資源を伝える誘導サイン ・月舘地区独自の水面利用を伝えるサイン <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="462 806 718 1187">  </div> <div data-bbox="750 806 1324 1187">  </div> </div> <p style="text-align: center;">サインイメージ 出典：兵庫県 HP</p> <p style="text-align: center;">月舘地区独自の水面利用（階段）</p>
<p>■ソフト展開</p>	<p>河川敷や残地等を利用して花の植栽を推進し、隣接する民地の協力を頂きながら、ガーデニングコンテストを行うことが考えられる。また、川柳が盛んな地域特性を生かして、イベント時には、川柳を書いた短冊をガードレール沿いに展示するなど、地元に関心を高める取り組みなどが考えられる。</p> <p>このほか、歩く楽しみ方に関する情報を発信するために、まちなか散策マップの作成を行う。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかサロン利用者と連携した花の植栽による花いっぱい回遊路づくり ・ガーデニングコンテスト、表彰制度 ・川柳展示イベント ・まちなか散策マップの作成 ・親子参加による手作りベンチの設置 <div data-bbox="957 1568 1388 1769">  </div> <p style="text-align: right;">河川沿いの修景イメージ</p>
<p>■効果</p>	<p>・広瀬川沿いの地域資源の磨き上げと歩くきっかけづくりに役立つ。</p>

整備事業 4：月舘小中学校の統廃合【重点事業】

<p>■目的</p>	<p>児童生徒数・学級数の減少を背景として、効率的な学校運営と地域のシンボルとして学校と地域が一体となって教育活動が展開できるようにすることを目的とする。</p>
<p>■ハード展開</p>	<p>小手小学校、月舘小学校、月舘中学校の小中一貫教育ができるよう統廃合を行う。</p> <p><施設整備イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校改修面積 2,933m² ・小学校増床面積 3,328m² <p>※今後、小中学校の統廃合の方針を踏まえながら規模を検討していく。</p>
<p>■ソフト展開</p>	<p>月舘地域の誇りや文化を継承し、のびのびと育つために必要となる、学校運営の方針や特色あるカリキュラムの検討を行う。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合学習の時間に地域の歴史や文化を学ぶ機会を創出 <div data-bbox="970 1055 1316 1393" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">総合学習の時間の取り組みイメージ 出典：磐田市立青城小学校 HP</p>
<p>■効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育9年間を一体的に捉えることで、子どもの発達段階に応じて、まちづくりと一体になって、豊かな人間性、社会性、健やかな体の育成に繋げることができる。 ・子どもが月舘地区のまちなかに集うことで、まちなかの活力向上に繋がることと、月舘地域への愛着を醸成することに役立つ。

整備事業 5 : 通学道路の整備【重点事業】

<p>■目的</p>	<p>安全な通学路の確保と送迎の利便性向上を図ることを目的とする。</p>
<p>■ハード展開</p>	<p>国道 349 号バイパス整備と小中学校の統廃合を勘案して小手地区等からも通学や送迎がしやすいように通学道路の整備を行う。</p> <p><施設整備イメージ></p> <p>L=400m (車道 5 m、歩道 2.5m を想定)</p>  <p>通学路イメージ 出典：佐賀新聞 HP</p>
<p>■ソフト展開</p>	<p>通学路の環境美化活動として、住民参加型で記念植栽を行う。また、シンボルロードとしての道の名称を小中学校の児童・生徒から募集することも考えられる。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型の記念植栽 (フラワーロード) ・地域住民や子どもたちからの道路名の募集   <p>記念植栽イメージ 出典：北見観光委員会 HP</p>
<p>■効果</p>	<p>・まちなかのさらなる交通量低減に役立つとともに、道路に愛着を持ち、住民参加型で維持管理を行う意識を醸成する効果がある。</p>

整備事業6：まちづくりと一体となった教育メニューの構築

<p>■目的</p>	<p>教育を通じて子供と地域が繋がる取り組みを深めることを目的とする。</p>
<p>■ソフト展開</p>	<p>地元と一体となりながら、地域を知る、学ぶきっかけづくりを行い、子どもたちが地域に愛着を持てるような取り組みを検討する。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・月館の歴史を探る（月見館、えぼし石等） ・地域の資源を見つめ直す（自然環境、くらし、産業等） ・まち巡りガイドブックの協働作成 ・郷土食や特産品の試作体験・試食会
<p>■効果</p>	<p>・総合学習の時間の教育メニューについて多様な受け皿が構築できるとともに、将来的に観光メニューとしての活用の可能性も考えられる。</p>



地域資源探しのイメージ
出典：登米市 HP

整備事業7：子育て支援施設等の充実

<p>■目的</p>	<p>まちなかでの地域活動等に母親が参加しやすい環境を整え、女性の視点を取り入れながらまちなかの賑わい向上につながるようにすることを目的とする。</p>
<p>■ソフト展開</p>	<p>子育て期間中の母親もまちなかでの買い物や地域活動に参画しやすくするために、月館保育園を活用し、子育て支援機能を充実させた月館認定こども園として拡充する。</p> <p>また、子育て世帯の情報収集の場としても利用できるよう機能を充実させる。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時保育・託児サービス ・子育て情報提供サービス
<p>■効果</p>	<p>・まちなかの利便性向上と親世代の地域活動の参加機会が増加し、さらなる地域の活気創出に役立つ。</p>



子育て支援センターイメージ

整備事業 8：児童健全育成環境の拡充	
■目的	放課後の子ども達の居場所を作ることで、子どもたちの健全な育成につながるようにすることを目的とする。
■ハード展開	保護者が労働などにより昼間家庭にいない子どもたちが授業の終了後に群れ遊ぶ環境を充実させるために、月舘総合支所の空きスペースを活用して、放課後児童クラブなどを整備する。
■ソフト展開	<p>地域情報を学ぶ場としても利用できるよう機能を充実させる。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や文化を学ぶ機会の創出 ・保護者会の支援によるクラブ活動の充実 ・おやつを通じた伝統食の体験 <div style="text-align: center;">  <p>放課後児童クラブイメージ</p> </div>
■効果	・安全で健全な児童育成に役立つ。健康サロンと併設する場合は、世代間の交流も生まれることが期待できる。

整備事業 9：おじいちゃんおばあちゃんの語り部育成（小手姫物語の伝承）	
■目的	つながりが希薄になりつつある地域の自然や風土に根ざした伝統や生活文化などを若い世代へ継承するとともに、高齢者の生きがいづくりに資する取り組みを増やすことを目的とする。
■ソフト展開	<p>高齢者が地域と関わるきっかけをつくり、語りを通じて世代間の交流を図る。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小手姫の物語 ・月舘の歴史の語り部（ご先祖の墓（オテゴウ）の由来等） ・月舘の暮らし、食文化 <div style="text-align: center;">  <p>語り部イメージ</p> <p>出典：滋賀短期大学附属高等学校 HP</p> </div>
■効果	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がまちなかに来る喜びに繋がり、世代をつなぐ効果や高齢者の外出割合を高め健康増進に役立つ。 ・将来、若者が自分たちの感性とアイデアを生かしてまちづくりに取り組む際の貴重な情報源として役立つ。

整備事業 10：高齢者住宅等の整備検討	
■目的	高齢者にとって安全・安心な暮らしとして、歩いて暮らせるまちなかの再生を推進していくことを目的とする。
■ソフト展開	<p>高齢者住宅等の整備の必要性について、月舘地域住民の住み替えに関する意向を把握しながら、今後検討を進めていく。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス購入型住宅による移住者の受け入れ検討 ・月舘住民のまちなか居住の意向検討
■効果	・山間部居住の高齢者の買い物難民化、独居老人化の抑制と新しい移住者によるまちなかの活力増進に繋がる。

整備事業 11：まちなかの各種イベントの開催及び拡充	
■目的	<p>地域住民の地域への関心度を高めることと、小手地区等から誘導した来街者との交流機会を増やし地域の魅力を体感してもらうことを目的とする。</p> <p>地域住民、来訪者の満足度をさら高め、地域との繋がりをさらに強めていくことを目的とする。</p>
■ソフト展開	<p>商工会や既存組織と連携しながら、広瀬川沿いやまちなかの広場などを活用してイベントを進めていく。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラック市の開催 ・川柳大会 ・民間施設の中庭を活用したイベント ・産直と連携しながら、ひろせふれあい広場でのマルシェの開催 ・小手姫の里夏祭りの拡充（花火大会）、小手姫の里秋祭りの開催 <div data-bbox="906 1709 1295 2000" data-label="Image"> </div> <p>軽トラ市イメージ</p> <p>出典：白壁土蔵群・赤瓦回覧板【白壁土蔵群周辺ブログ】</p>

さらにイベントメニューを魅力的に仕上げることを今後検討しながら進めていく。また、学校と連携しながら、散策道路沿いのしつらえを整えるための住民参加型のフラワーポットの設置イベントとウォーキングイベントの開催などが考えられる。

<ソフト展開イメージ>

- ・ 広瀬川での灯籠流し
- ・ 例大祭の復活、盆踊り、子どもまつり
- ・ リリーフェスタ
- ・ 子供の昔遊び、子どもクラフト
- ・ 町の文化財の保全・活用（ご先祖の墓（オテゴウ）、木教観音、えぼし石）
- ・ ウォーキングイベント



子どもまつりイメージ

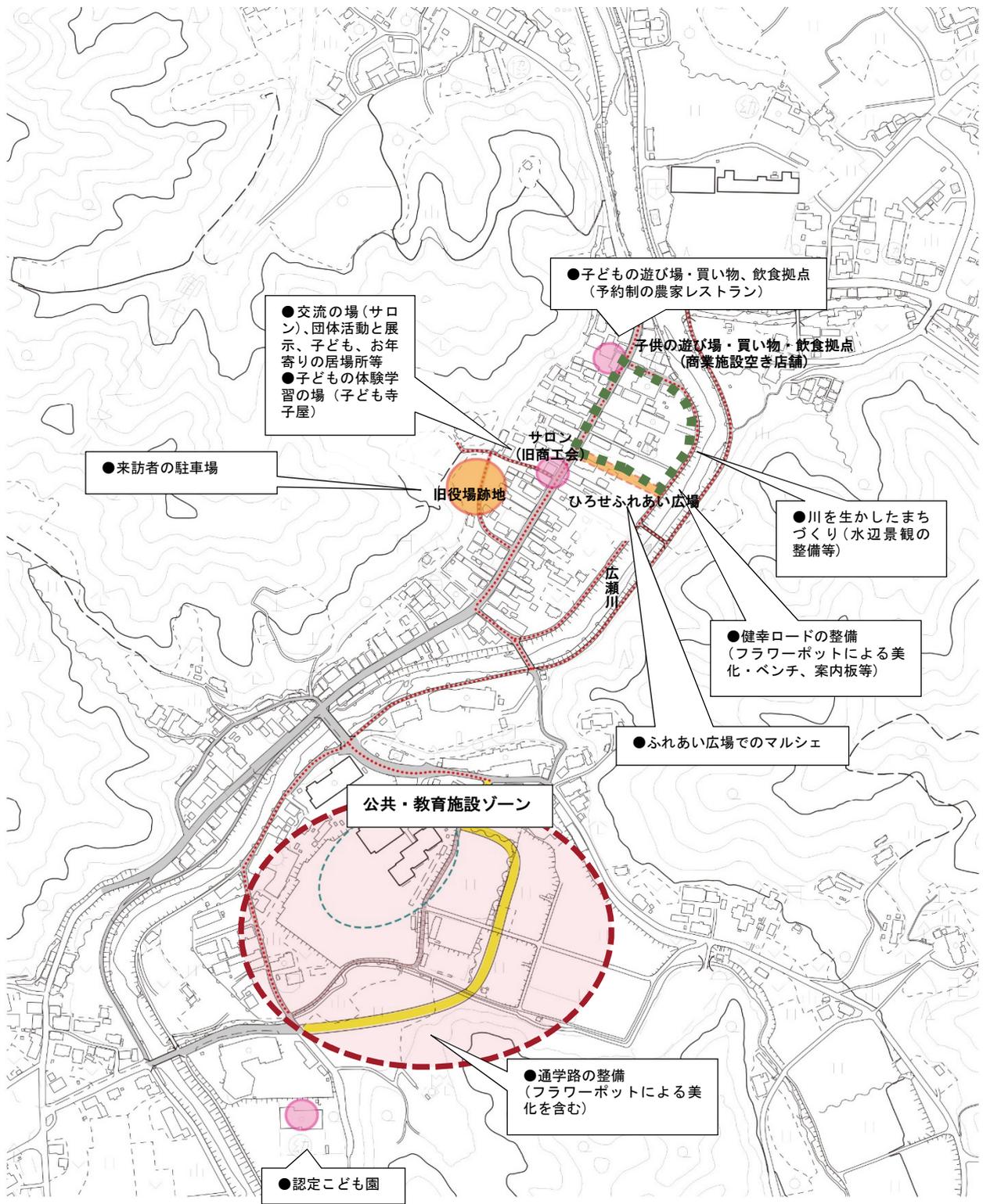


リリーフェスタイメージ

■ 効果

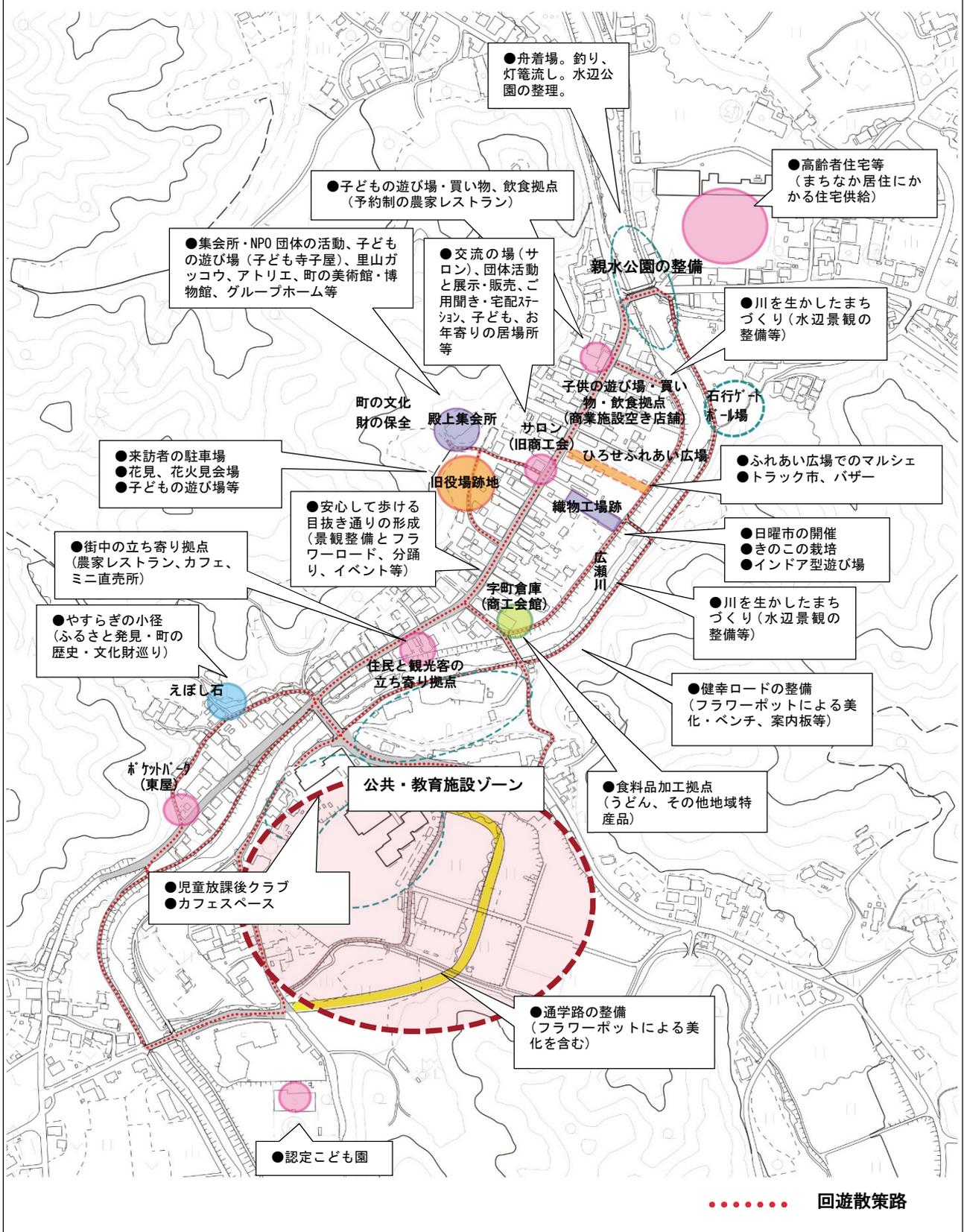
- ・ 既往のイベントの魅力向上と新しく整備する施設等と連携しながら魅力を高めていくことに役立つ。
- ・ まちなかの更なる活力向上に役立つ。

■整備構想図 中心市街地【短期整備】



●●●●● 回遊散策路
■ ■ ■ ■ ■ 主要回遊動線

■整備構想図 中心市街地【中長期整備】



2. 花工房周辺の都市と農村の交流活性化プロジェクト

(1) 整備目標

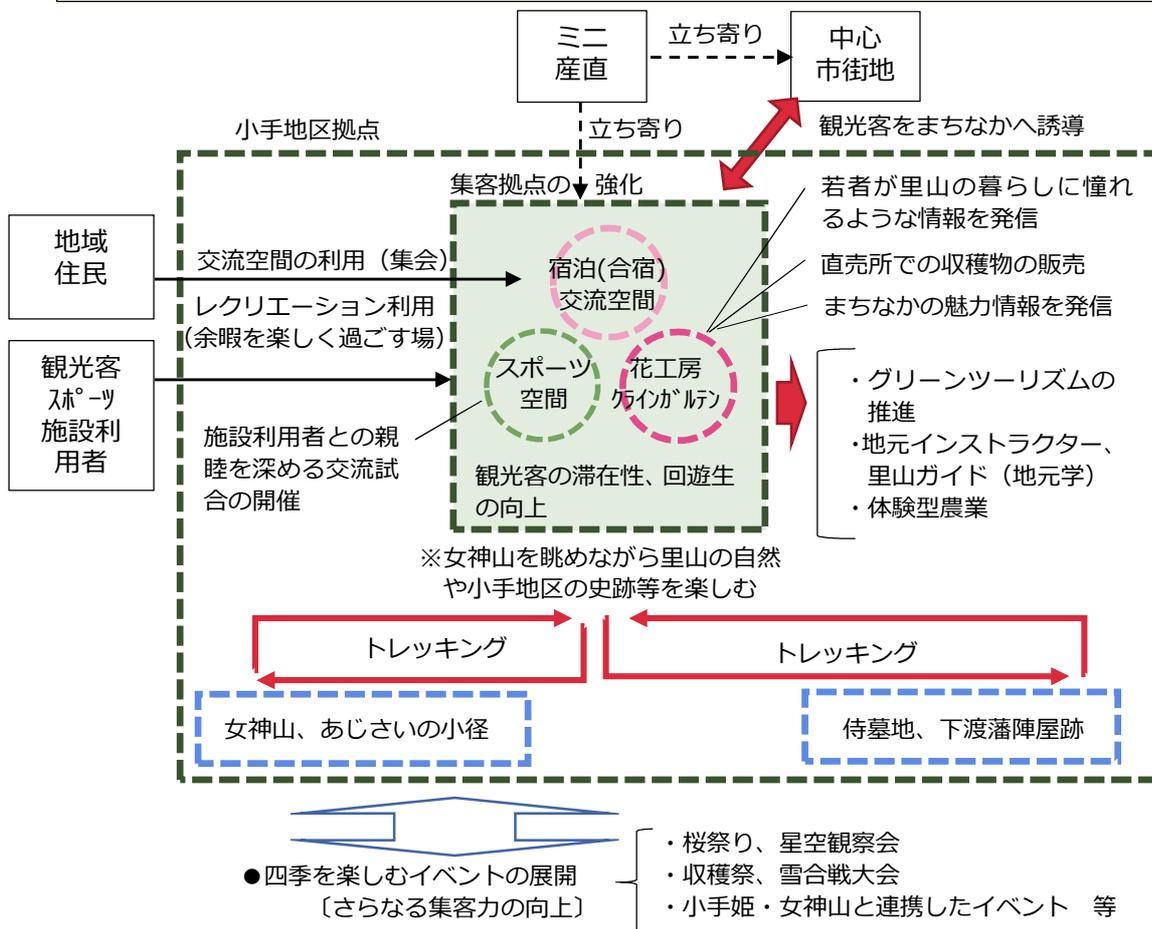
月館地域全体の活性化に向けて、主に小手地区（糠田、上手渡、下手渡）を対象とした整備目標と基本的な考え方を以下に示す。

■整備目標

～花工房とスポーツを活かした、都市と農村との交流の拠点～

■基本的な考え方

- ・月館地域を代表する広域交流拠点である花工房を核として豊かな自然に囲まれた農村の魅力について五感を使って体験する取り組みを強化し集客強化を図る。
- ・月館運動場を核としたスポーツ交流や健康増進活動の活性化を図るとともに、隣接する施設の有効活用も含めて、地域のレクリエーション拠点とするとともに、通学合宿所としても利用可能なものとする。
- ・スポーツ食育の観点から、花工房を核とした「農」、「食」などの資源と月館運動場を核としたスポーツ施設での活動を有機的に連携させた取り組みを推進する。
- ・まちの魅力を発信するため、中心市街地（字町地区）への関心を寄せるための誘導を行う。
- ・まちなかの送迎も視野に入れる。
- ・女神山、あじさいの小径、下手渡藩陣屋跡、侍墓地などの地域資源を利活用した散策ルート等も PR していくものとする。



(2) 花工房周辺の整備プログラム

花工房周辺のハード・ソフトに関わる整備プログラムを以下に示します。

整備事業1：クラインガルテンの整備【重点事業】	
<p>■目的</p>	<p>豊かな自然環境のなかで農作業ができる環境を整えることで、滞在時間を長くしリピート率の高い新たな固定利用者を創出することを目的とする。</p>
<p>■ハード展開</p>	<p>都市部住民等との交流に資する体験型農業（クラインガルデン）の整備を行う。</p> <p>花工房や小手小学校と連携し、需要動向をみながら段階的な整備を検討する。</p> <p><整備イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地、ラウベ  <p style="text-align: center;">クラインガルデンイメージ</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：舞鶴ふるるファーム HP（右、中央写真） おちやクラインガルデンふれあいの里 HP（左写真）</p>
<p>■ソフト展開</p>	<p>クラインガルデンに関心のある方を把握するためのイベントとしての社会実験を検討し、農作業が行いやすいように必要となる資材が調達しやすい環境を整えるとともに、収穫物を加工や販売する楽しみを体験できる取り組みを増やすことが考えられる。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○既存施設を活用した「お試しクラインガルデン」の社会実験 <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設を活用して、会員制などにより農作業体験や予約制での宿泊などによる社会実験を行い、利用者ニーズの把握を行いながら、クラインガルデンの本格整備に向けて情報収集を行うことを検討する。 ○農作業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・種もみの販売、加工品の体験など ○産直販売支援 <ul style="list-style-type: none"> ・中長期的には、既存の産直施設や月舘交流館「もりもり」等での産直販売なども視野に入れて検討する。 ・収穫祭の開催
<p>■効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業を通じて、地域の人々と都市住民との交流により、都市住民に月舘地域の良さを伝え広めてもらえることができる。 ・遊休農地の有効活用にも繋がる。

整備事業2：花工房を核とした交流拡大による活性化の推進

<p>■目的</p>	<p>花工房を核として4つの整備事業を関連させながら、既往事業と一体的に進めることで月館地域全体の活性化を推進させることを目的とする。</p>
<p>■ハード展開</p>	<p>現在、花工房の団体利用者の宿泊需要に対して、客室数が不足している状況にあることから、今後の利用者増加を視野に入れながら、宿泊機能の強化として、施設のリニューアルや増築することも視野に入れて検討する。</p>
<p>■ソフト展開</p>	<p>花工房を核として、既往事業の磨き上げを行い、地区住民と来訪者の交流が生まれる取り組みを推進する。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者参加型によるオリジナル散策マップの作成（ワークショップ） ・月館ファンと一緒に花いっぱい運動の磨き上げ ・子どもやスポーツ関連グッズを意識した木工体験メニューの拡充 ・クラインガルテンでの取れたて野菜の調理サービス、地域のおばあちゃんの調理実演 ・里山の暮らしの総合情報の発信 ・人材育成 <div data-bbox="443 1088 914 1440" data-label="Image"> </div> <p>オリジナル散策マップイメージ 出典：若狭児童館（NPO法人地域サポートわかさ）</p> <div data-bbox="699 1525 1034 1742" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1007 1576 1366 1816" data-label="Image"> </div> <p>木工体験メニューイメージ 出典：広島県三原市 森の家ブログ (右写真) 楽しまんと！はた旅！HP (左写真)</p>
<p>■効果</p>	<p>・「花と緑あふれる里」の取り組みを具現化した姿として地区内外にアピールでき、地域の誇りの醸成に繋がる。</p>

整備事業3：広域ウォークロードの構築

<p>■目的</p>	<p>花工房周辺とまちなかの繋がりを強めることと、地域住民の歩くきっかけづくりを目的とする。</p>
<p>■ハード展開</p>	<p>歩く楽しみをもっとPRして、地域外の人が歩くことからはじめ、地域の人も感心を持ち、自分たちも歩き出すような取り組みを支援する。 <整備イメージ> ・距離標、案内標識</p>
<p>■ソフト展開</p>	<p>花工房とまちなかを繋ぐようなウォークロードを構築することで新たな魅力を創出する。</p>



..... : 花工房とまちなかを繋ぐウォークロード設定

<p>■効果</p>	<p>・車だけでなく、歩いてまちなかまで来る魅力が高まることで、まちなかの駐車場のキャパシティを超える来街者があっても、棲み分けが可能となる。</p>
------------	---

(3) 月館運動場周辺の整備プログラム

月館運動場周辺のハード・ソフトに関わる整備プログラムを以下に示します。

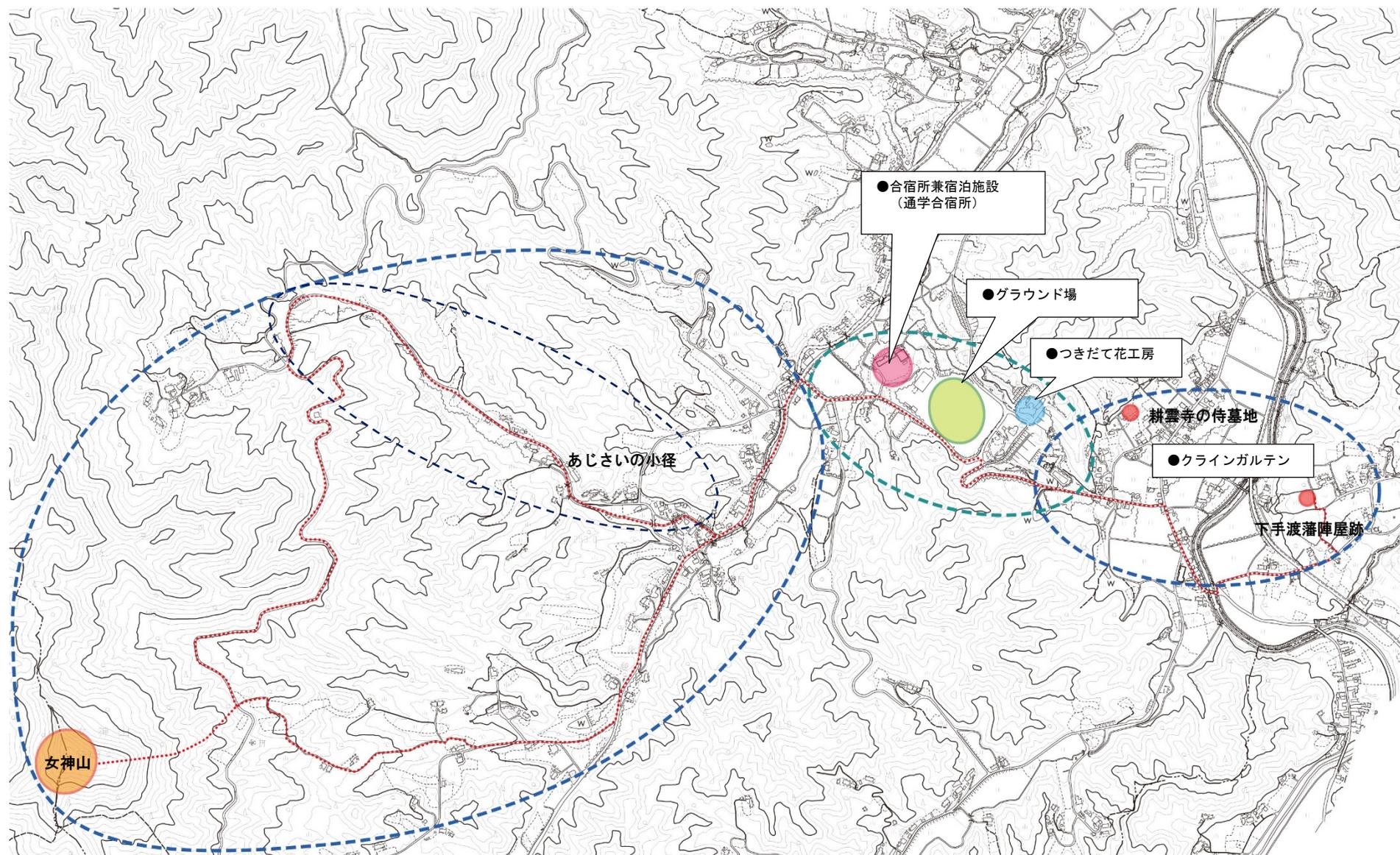
整備事業4：小手小学校の合宿所リノベーション【重点事業】	
<p>■目的</p>	<p>学校の統廃合に伴い空き校舎となる小手小学校を地域の交流拠点として上手に活用することで、花工房において不足する宿泊機能の拡充や合宿機能の充実にも繋げて、施設の魅力を高めることで地域の活力維持に繋げていくことを目的とする。</p>
<p>■ハード展開</p>	<p>花工房と連携した宿泊等、多様な宿泊機能を有する施設とする。また地域の交流拠点機能を有する施設にするとともに、スポーツ合宿及び通学合宿所としても利用可能な施設とする。</p> <p>なお、整備においては、集客量に応じて、段階的な整備を検討するものとする。</p> <p><整備イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1F：食堂機能、交流室機能 ・2F：宿泊機能（宿泊者人数 4～5人×8室 =約32人） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">校舎のリノベーションイメージ</p>
<p>■ソフト展開</p>	<p>施設の魅力を高めるために、交流滞在事業の仕掛けづくりや、合宿時のロードワーク等のメニューづくりを行うことで、地域の魅力をアピールしていくことが考えられる。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <p>○交流滞在事業の仕掛けづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他校との交流を通じた合宿の強化 ・合宿時の食事における地元農家の採れたて野菜・果実の利活用 ・「通学合宿所」としての取り組み ・農作物加工品体験教室、郷土料理教室、地元農家との交流 <p>○合宿時のロードワーク等のメニュー構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合宿時のロードワーク等のメニュー展開 <div style="text-align: right;">  <p>地元農家との交流イメージ 出典：神奈川県HP</p> </div>
<p>■効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある合宿所としての魅力が高まり、利用者増加に繋がるとともに、小手地区の新しいコミュニティ形成に役立つ。

整備事業5：月館運動場の人工芝化とクラブハウスの整備【重点事業】

<p>■目的</p>	<p>月館運動場は、地域の住民や県内等からスポーツ利用が多い施設であることから、さらに、地域外から多くの人を呼び寄せるためにスポーツ振興の推進を図ることを目的とする。</p> <p>また、花と緑あふれるグラウンドとするとともに、小手小学校活用との相乗効果を図るものとする。</p>
<p>■ハード展開</p>	<p>土のグラウンドから、人工芝にすることで、近隣市町村にはないスポーツ環境を整え、多くの集客を見込むことを想定する。また、小手小学校の合宿所と連携しながら、合宿しながらの練習等ができるようにすることで魅力を高める。</p> <p>野球、サッカー、ソフトボール等ができるよう人工芝として整備する。高齢者が利用できるようにグラウンドゴルフ等も可能なように配慮する。</p> <p>また、利用者が活動拠点として利用できるようにクラブハウスについても検討する。</p> <p><施設整備イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工芝 面積：27,000m² ・クラブハウス (事務室、談話室、会議室、シャワー・更衣室、トイレ等) <div data-bbox="986 898 1337 1171" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">人工芝イメージ 出典：メーカーHP</p>
<p>■ソフト展開</p>	<p>関連施設の機能を十分生かして集客力を高めるために、クラブハウス、合宿所と連携しながら交流試合等のコーディネート機能を拡充する。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <p>○交流試合のコーディネート機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブハウスでの取り組みを軸として交流試合のコーディネート機能などの拡充していくことを検討する。 ・また、花工房の宿泊施設や小手小学校の合宿所と連動したスポーツ合宿の展開を検討する。交流試合後の食事会などにおいて月館産の農産物の利用ややクラインガルテンでの収穫祭とのコラボレーションにより魅力を高めていくことを検討する。 ・大会関係者の思い出づくりとリピート率を高めるための選手と一緒にあった花いっぱい運動を検討する。(花と緑あふれるグラウンドづくり)
<p>■効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを軸とした新たなネットワークが形成され、月館地域内外の利用者の増加に繋がる。

■ 整備構想図 小手地区

..... 散策ルート

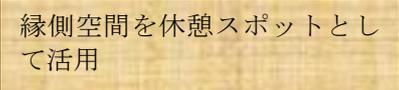


3. その他の関連プロジェクト

(1) 体験農家レストラン

整備事業1：体験農家レストランの整備	
<p>■目的</p>	<p>地域の新しい取り組みの創出と地産地消の推進を目的とする。</p>
<p>■ハード展開</p>	<p>地域内外からの観光客や住民の立寄り・集客拠点としての体験農家レストランの整備運営を図る。</p> <p><施設整備イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設規模：約100m²クラス ・駐車場：砂利敷 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>体験農家レストランイメージ</p> <p>出典：メーカーHP</p> 
<p>■ソフト展開</p>	<p>里山の暮らしを魅力的に見せるソフト事業を展開する。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小麦栽培、地産地消農業体験 ・近隣農家からの野菜の供給（ピザ等の材料へ） ・有機堆肥づくり <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>サテライト</p>  </div> <div> <p>田舎暮らし 情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小麦栽培体験 ・パン・ピザづくり体験 ・里山保全・ジビエピザの開発 <p>畑、有機たい肥づくり(近隣農家と連携)</p> </div> </div>
<p>■効果</p>	<p>・里山暮らしの魅力発信や地域のうまいものや特産品開発に寄与する。</p>

(2) ミニ道の駅

整備事業 1 : ミニ道の駅の常設開催【重点事業】	
<p>■目的</p>	<p>国道 349 号バイパス道路利用者に対して、月舘地域の魅力を発信することを目的とする。</p>
<p>■ハード展開</p>	<p>国道 349 号バイパス道路の整備等を活かして、御代田コミュニティセンターに自動車利用者が休憩できる機能を付加し、地元の農産物等を販売する産直と合わせて、月舘地域の魅力を伝える拠点として、中心市街地や花工房等への誘客を促す施設とする。</p> <p><施設整備イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> 仮設テントで対応（マルシェ用の移動式カート等やのぼり旗を整備） <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>裏庭の縁側空間へ案内するエントランスとしてしつらえを強化</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>縁側空間を休憩スポットとして活用</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">仮設テントでの産直イメージ</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：全国産直ゴーゴー（下諏訪農産物即売会）HP</p>
<p>■ソフト展開</p>	<p>住民参加型で地域情報の発信を推進する。</p> <p><ソフト展開イメージ></p> <ul style="list-style-type: none"> 情報発信拠点（室内展示、地域情報発信）⇒まちなか、花工房等へ誘客 国道 349 号の休憩スポットとして（お茶の提供、庭の鑑賞、演出、屋外展示） <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>室内はイベント時の展示スペースとして活用</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>縁側空間を休憩スポットとして活用</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">展示利活用イメージ</p>
<p>■効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地元産の農産物の新たな坂路拡大と地域住民のやりがいの醸成に役立つとともに、地域情報を立ち寄り者に生きた情報として伝えることができる。